

台湾オガタマ

か めい
科名 モクレン

べつ めい
別名

がくめい
学名 *Michelia compressa* ver. *Formosana*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 いろおもてしま いしがきしま よなぐにしま たいわん
西表島、石垣島、与那国島、台湾

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きぶ くさびがた
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい たいか あつ しゅうごうか
実 の 種類 袋果が集まった 集合果

は な がくいろ おうはくしよく
花 ・ 萼 色 黄白色

せつ せい
説 明 山野に生育し、樹高15mにもなる高木です。葉は革質で互生し、長楕円形、長さ5-12cm、幅2-4cmです。葉の表面は深緑色、裏面は白みをおびており若いときには毛が生えています。花は腋生し、黄白色の花が咲きます。実は卵形か球形で長さ1.5-2cm、2個から3個の赤色の種が入っています。日本の西南に分布するオガタマの葉より細長くなっています。